

平成 30 年度 第 3 回
魚津市子ども・子育て会議 会議録

平成 31 年 2 月 13 日 (水)

平成 30 年度 第 3 回 魚津市子ども・子育て会議

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 13 日 (水) 14 時 00 分から 15 時 50 分まで
- 2 場 所 魚津市役所 第一委員会室 (4 階)
- 3 出席者 【魚津市子ども・子育て会議委員 (17 名)】

奥田 實	(富山県立大学 名誉教授)
中村 重明	(魚津市社会福祉協議会 事務局長)
高木 姿子	(魚津市民生委員児童委員協議会 主任児童委員)
河崎 真理子	(魚津市保育研究会 会長 (松倉保育園長))
金屋 栄子	(魚津市民間保育連盟 代表 (ほんごうこども園長))
新夕 佳子	(魚津市幼稚園教育研究会 代表 (大町幼稚園長))
水橋 涉	(魚津市小学校長会 代表 (清流小学校長))
宝田 幸嗣	(魚津市中学校長会 会長 (西部中学校長))
滝川 貴行	(魚津市 P T A 連合会 代表)
藤田 ちあき	(魚津市母子保健推進員連絡協議会 会長) ※
高瀬 忠次	(魚津市公民館連合会 代表 (経田公民館長))
谷林 正昭	(魚津市自治会連絡協議会 代表)
大崎 敏治	(魚津商工会議所 事務局長)
西尾 秀樹	(連合富山魚津地域協議会 幹事)
高木 寛子	(公募)
荒木 沙矢佳	(公募)

欠席者【魚津市子ども・子育て会議委員 (1 名)】

石倉 啓子	(うおづ女性の会 監事)
大嶋 昭子	(魚津市母子保健推進員連絡協議会 副会長)

※大嶋昭子委員欠席のため、藤田ちあき氏が代理出席

傍聴人 (1 名)

事務局

矢田 厚子	(民生部長)
富居 幹生	(教育委員会教育次長)
宮野 司憲	(こども課長)
上坂 一弘	(学校教育課長)
森山 明	(健康センター所長)
舘 和生	(学校教育課 学校教育係長)
上田 洋美	(健康センター 母子保健係長)
石浦 満理子	(こども課 子育て支援係長)
堀内 京子	(こども課 保育係長)

4 審議内容

1 開会

(事務局)

只今より平成 30 年度第 3 回魚津市子ども・子育て会議を開催する。開催に先だって魚津市民生部長矢田厚子より挨拶をする。

2 あいさつ

(民生部長)

本日は大変ご多忙にもかかわらず、本日の会議にご出席いただき、感謝申し上げます。さて、平成 27 年 3 月に策定した「魚津市子ども・子育て支援事業計画」が平成 31 年度末をもって終了するが、引き続き、第 2 期の計画策定に向け、昨年 11 月に保護者等を対象にしたアンケート調査を実施した。アンケート調査票の作成にあたっては、委員の皆様方から貴重なご意見を賜り、遅くなったが、この場をお借りして感謝申し上げます。現在、アンケートの集計・分析については最終段階に入っており、本日は集計結果の概要と魚津市が目指す子育て環境等の方向性等をお示ししたいと考えている。委員の皆様方には、忌憚のないご意見をいただき、来年度において、子育て支援策に関する魚津市の現状と課題を分析・整理し、利用者ニーズの把握、関係機関の皆様方からのご意見等をうかがい、教育・保育の「量の見込み」を算出するとともに、魚津市の基本方針・目標設定・目標達成に向けた各種取り組みを検討し、「第 2 期魚津市子ども・子育て支援事業計画」を 2020 年 3 月末までに策定し、子どもの健やかな成長を促す環境の整備や子どもと家庭を地域全体で支えていく取り組みを将来を見据え、さらに積極的に進めて参りたいと考えている。この他、市立保育園の民営化、閉園、放課後児童クラブの取り組み等につきましても、ご説明いたしますので、ご意見をいただきたい。今後も引き続き、子ども・子育ての環境が少しでも良くなりますよう各種事業を推進して参りたい。委員の皆様方には、本日の会議はもとより、いつでも気軽にご意見等を賜りますようお願い申し上げます。

3 報告事項

⇒事務局より、報告事項(1)魚津市立住吉保育園民設民営化の進捗状況について、資料①に基づき説明

(委員長)

この報告事項について質問、ご意見があれば挙手をお願いしたい。

(滝川委員)

2 月 8 日に行われた交流事業において、園児たちはどのような様子だったか。

(事務局)

当日は雪が降りはじめ、もしかすると雪遊びもできたのかもしれないが、前日まで準備の都合上、上口保育園の遊戯室にて交流を行った。初め園児たちの顔はこわばっていた様子だったが、遊戯等を経て少しずつ打ち解けている様子だった。上口保育園内の探検をすることができ、最後には仲良くなったようだった。

(高木委員)

現在、第3子が上口保育園に通っている。今後のスケジュールについて、保護者へ連絡はいつあるのか。例年、3月終わりの平日の夜に来年度の案内等がある。そのときには教えていただけるのか。どのような流れで保護者に知らせていくのか。

(事務局)

園だよりや市のホームページに掲載中であるが、情報の発信力が足りなかったようだ。その中に「引継ぎ・共同保育等計画(案)」についても、掲載している。「引継ぎ・共同保育等計画(案)」は2月末までに策定し、3月にはお伝えできるようにしたい。2月18日に行われる三者協議会が終了後、すぐにでもお伝えしたいと思う。

(谷林委員)

運営法人は魚津保育会に決まったとあるが、この魚津保育会の代表者はだれか。

(事務局)

社会福祉法人 魚津保育会 理事長 生駒晴俊氏である。

(高瀬委員)

上口保育園の園児は下中島地区と大町地区から通っている子が多いと思うが、内訳はどうか。

(事務局)

詳しい数字は分からない。確かに、その地区から通っている子が多い。親の仕事場の都合等でその地区外や市外から通っている園児もいる。

(藤田委員)

2020年4月以降、市の保育士は新園にいないのか。魚津保育会の保育士のみで保育するのか。全国的には、市の保育士も何名か残って引継ぎを行っている場合が多いと思うが、

(事務局)

その点についても魚津保育会と話し合っ、決めたい。少なくとも、住吉保育園の保育士1人は新園に残し、保育したいと考え、市の人事担当と話をさせていただいている。園児の不安をなくすためにも、できるだけ、そのように対応したい。

⇒事務局より、報告事項(2)公共施設再編計画に伴う西布施保育園保護者説明会等の経過報告について、資料②に基づき説明

⇒事務局より、報告事項(3)平成31年度以降の放課後児童クラブ対応について、資料③に基づき説明

(委員長)

この報告事項について質問、ご意見があれば挙手をお願いしたい。

(谷林委員)

村木公民館のお世話をしている。村木公民館の活用については、地域としても大歓迎。ただ、学童が開始した場合、玄関はどうするのか、児童の雨具はどうするのか。地域や公民館と話し合い、ルールを決めていただきたい。緻密に話し合いをしていただきたいし、地域としても相談に乗りたいと思う。

(事務局)

ありがたいお言葉に感謝申し上げます。現在、来年度の学童保育の利用申込を受け付けている。利用人数等が確定したら、地域や公民館、社会福祉協議会と相談させていただき、しっかりと対応していきたい。

(中村委員)

少子化で子どもの数は減っているはずだが、以前に比べて学童保育の利用人数は格段に増えている。これは、利用するための審査基準等が変わったからなのか。将来の見通しはどうなっているのか。

(事務局)

おっしゃる通り、少子化にもかかわらず学童保育の利用は増えている。これは、共働き世帯が増えたことなどが原因かと考えている。審査基準等は変えておらず、祖父母等が近居している場合は、利用を控えるようお願いしている状況である。国の基準では、1クラス定員が40人となっており、平成31年度末までは経過措置が適用されるが、平成32年度以降は問題が解消されなければ、なんらかのペナルティがあるのではと心配している。一方で、支援員の確保についても、全国的に問題となっている。国の基準は緩和されつつあるが、本当に基準通りでよいのか心配な部分もある。運営にあたっては、学童保育が必要ない家庭について、きちんと審査する必要があると思うが、いろんな事情等も考慮し、柔軟にすすめていくことを念頭におきつつ、社会福祉協議会や地域とも協力し合い行っていきたい。第2期の魚津市子ども・子育て支援事業計画の中にも盛り込んでいきたい。

⇒事務局より、報告事項(4)富山県地域活動団体(母親クラブ)市町村協議会設置促進事業対応状況について、資料④に基づき説明

(委員長)

この報告事項について質問、ご意見があれば挙手をお願いしたい。

(藤田委員)

いまどきの母親は負担を減らしたいと思っているはずだが、魚津市で母親クラブを作るメリットはあるのか。市としては、作りたいと考えているのか。

(事務局)

県より市に依頼があり、受託した事業である。市としては、すでに解散した母親クラブを再度保護者に立ち上げてもらうのは躊躇したが、保護者や子どもたちが望む環境等を追求し、各園や保護者からの意見も加味したうえで、現在策定中の第2期子ども・子育て支援事業計画に活かさないかと思いついた背景がある。平成31年度以降も引き続き、県より補助金等が得られれば、魚津市としてどのような母親クラブのあり方が必要なのかということも踏まえて検討していきたい。母親クラブが現在あるのは、富山市、黒部市だけである。これを何とか広げていきたいというのが、県の思いであり、それを受けて魚津市子ども・子育て支援事業計画にも反映できるように検討していきたい。

(藤田委員)

現在、精力的な母親がイベント等を開いて、魚津市を活性化させようと活動している。そのような母親たちをもっと支援していただきたい。

(事務局)

母親クラブの設立ありきで進めていくつもりはなく、柔軟な考えで進めていきたい。

(高瀬委員) 魚津では児童クラブも活動している。児童クラブはどういう状況で、どのようにしていくつもりか。

(事務局)

現在、26の児童クラブがあるが、限られた地域で活動している。児童クラブのあり方についても、委員の皆様にお謀りし、第2期魚津市子ども・子育て支援事業計画の中に盛り込んでいきたい。

(委員長)

子育てサークルの連絡会のようなものがあればいいと思う。検討していただきたい。

4 協議事項

⇒事務局より、協議事項(1)魚津市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査の進捗状況について、資料⑤に基づき説明

(委員長)

この協議事項について質問、ご意見があれば挙手をお願いしたい。

(谷林委員)

計画の方向性の中に、『市議会決算特別委員会等からの指摘』という文言があるが、指摘のポイントをお聞かせ願いたい。

(事務局)

平成29年10月の市議会決算特別委員会から、少子化に伴った園の適正配置を早く進めてほしいという指摘を受けた。これは、第1期の魚津市子ども・子育て支援事業計画にある園児数が10人以

下の園を休園の検討とするとあったのを、より早く進めてほしいということだった。『市議会決算特別特別委員会等』の等とは、民間保育連盟からの要望として、民営化をさらにすすめてほしいという声があり、それも指摘の一部である。

(荒木委員)

健康センターで行われている事業の認知度が高いのに利用率が低いのは、募集人数の少なさと思われる。また、4～6年生の学童保育の利用希望については、親は利用させたいと思っても、子どもは友達と遊びたいと思っていることがあると思う。学童保育の一時利用についても、急な利用について対応してもらうことが難しいことがあった。申込のハードルを低くしてほしいという要望がある。

(事務局)

健康センターの事業については、マンパワー的にどこまで広げることができるか分からないので、すぐに対応できるかお答えはできないが、事業の周知等は検討させていただきたい。

学童保育の利用について、実際、公民館型の学童保育では4～6年生の利用は少ない。アンケート調査の集計結果を鵜呑みにせず、平成31年度には関係機関と話し合うことで、本当の求める環境を追求したい。申込の手続き等については、どういった対応ができるかを考え、計画の中で盛り込んでいきたい。

(高木委員)

キッズベアーを利用している。急にキッズベアーを利用することになった際、その子に合った病児食をすぐに用意できないことがある。食事をキッズベアーでも提供可能になれば、大変ありがたい。病児保育も、キッズベアーだけではなく、保育園併設型のものが増えればうれしい。

(事務局)

ご指摘感謝する。食事では、クリアすべき条件等もあることから、キッズベアーとも話し合い、今後この場で協議していきたい。

(新夕委員)

要望が多いものは財政的に難しいものが多い。把握した要望の中で順位をつけ、実現可能なものから、取り組んでいただきたい。学童保育の支援員は減らしてもいいという話になってはいるが、安全のことを考えると、色々と考慮していただきたい。

(事務局)

要望すべてを叶えたい気持ちはあるが、財源が限られており難しい。保育に携わる皆様にお話を伺ったうえで、支援できる体制や支援できる量をマッチングさせて計画を策定したい。学童保育の支援員について、国の基準は緩和されたが、40人以下の児童に2人の支援員が望ましいと考えている。これについては、運営とも話し合い決めていきたい。ご指摘感謝する。

⇒事務局より、協議事項(2)魚津市立保育所一時預かり保育事業実施要綱の改正について、資料⑥に

基づき説明

(委員長)

この協議事項について質問、ご意見があれば挙手をお願いしたい。

(荒木委員)

昼食代の 200 円におやつ代は含まれているか。

(事務局)

おっしゃる通りである。

(高木委員)

利用時間は午後 4 時半で終わるとあるが、延長してもらうことはできるのか。延長した場合は、延長料金がかかるのか。

(事務局)

各園長が保護者と話し合い設定する。保育時間については、柔軟に対応させていただきたい。延長料金はかからない。今後、私立の施設長にも市の方向性として説明し、ご理解を得られれば、来年度より施行したい。

(委員長)

改正案には 4 時間を超える場合と書いてある。何時間利用しても 1 日 2,000 円になってしまうが、時間の明記はしなくてよいか。

(事務局)

それぞれの園によって、保育時間が決まっているので、その範囲の中での利用となる。

(西尾委員)

改正する背景は、どこかから指摘があったからか。

(事務局)

昼食代が実質 1,000 円になっているという指摘をいただいた。これを受けて改正をする流れとなった。

(高瀬委員)

園長が決定するとあるが、園長は管理職か。

(事務局)

公立の園長については、係長級である。その管理はこども課長である。保育の現場において、こども課長まで話をしているうちに遅れをとることがあり、その危険を考えると、現場での判断を優先

している。その後、こども課長に承認をとるかたちになる。

5 今後のスケジュール（予定）

⇒事務局より、今後のスケジュールについて説明

（事務局）

アンケートの最終集計とデータ化、分析等を進め、第2期の計画の骨子案を作成し、内容が協議できる状態になれば、7月までに平成31年度の魚津市子ども・子育て会議を開催したい。

（奥田委員長）

他に意見がなければ閉会としたい。本日頂戴したご意見以外にもあれば事務局までお願いしたい。

6 閉会

（事務局）

奥田委員長、ありがとうございました。委員の皆様にも貴重なご意見を賜りましたことに御礼申し上げます。本日はお疲れ様でした。

以上